

おくすりのタネを さがしてみたよ



おくすりのタネを
さがしてみたよ



けいちゃんは小学4年生の女の子。

お友だちには見えないけれど、いつも羊のメイプルさんといっしょです。

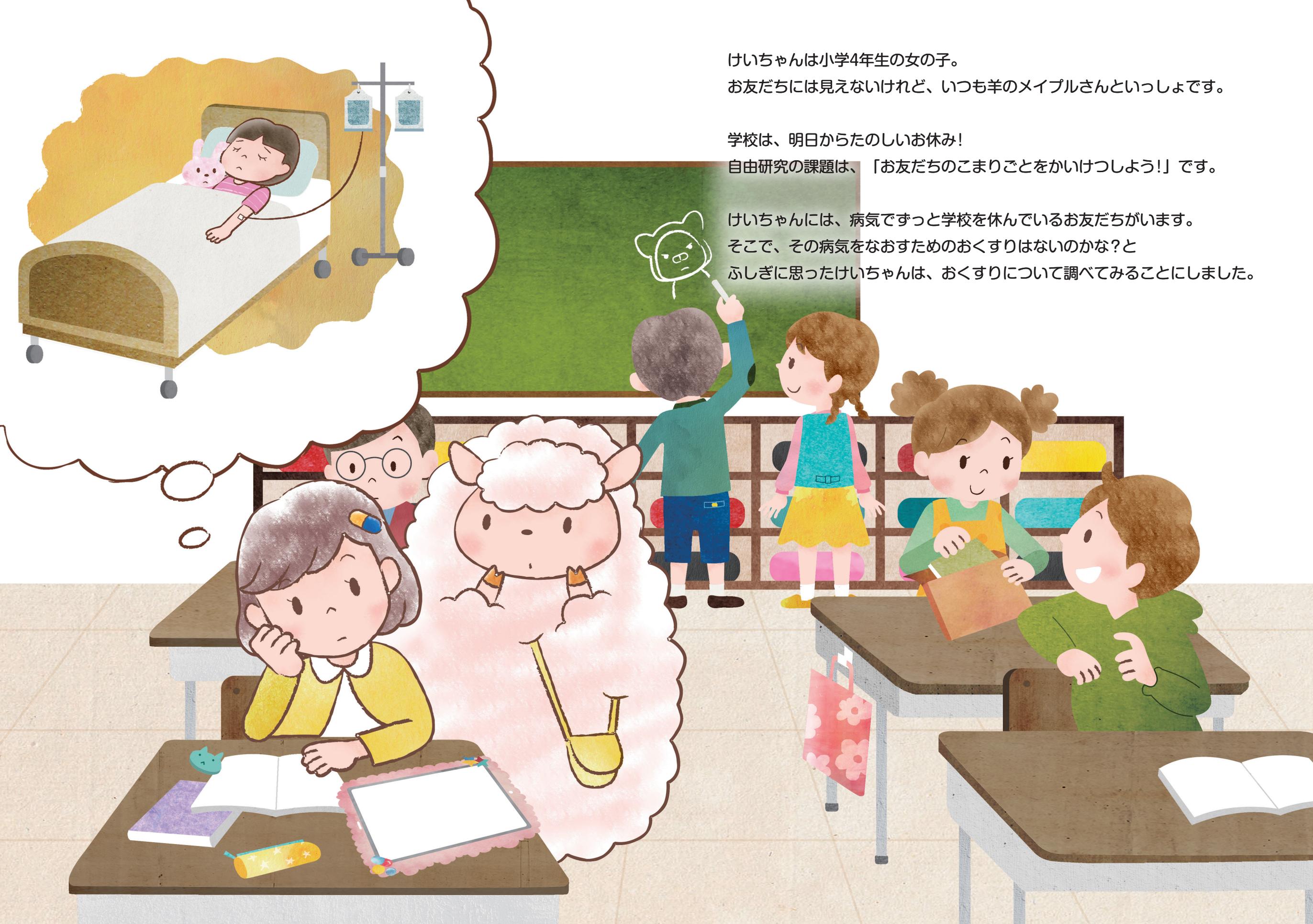
学校は、明日からたのしいお休み!

自由研究の課題は、「お友だちのこまりごとをかいけつしよう!」です。

けいちゃんには、病気ですっと学校を休んでいるお友だちがいます。

そこで、その病気をなおすためのおくすりはないのかな?と

ふしぎに思ったけいちゃんは、おくすりについて調べてみることにしました。



お休みのある日。

けいちゃんはメイプルさんと一緒に、
おくすりについて調べるためにタブレットを持って出かけました。

少し歩いていくと、いつのまにか知らない森にいました。

「えっ、ここはどこ？」

「おくすりのタネが見つかることがあるふしぎな森よ」

メイプルさんがにっこり答えます。

「タネ？」

「うん。けいちゃんが、いっしょうけんめい調べているから、来てみたの」

メイプルさんは、つづけます。

「みんながつかっているおくすりはね、おくすりのタネから
おくすりになったのよ。さあ、森のおくへお友だちの
おくすりになるタネをさがしに行きましょう！」





メイプルさんと森のおくへ入って行くけいちゃん。

「ふしぎな森ね。ほら、ここにも、あそこにもおくすりのタネがある！

これがおくすりになるのかな？」

タブレットであちこち写真を撮りながら歩いていきます。

「おくすりは、何万ものタネから

ひとつしか見つからないくらいたいへんなの」

メイプルさんがせつめいします。

「まずは図書館で調べてみる？ ほら、あの本おいしそう!!」

とメイプルさん。

けいちゃんが、手をふってふたりをよんでいるお医者さんを見つけました。

「あ、あそこのお医者さんが教えてくれるかも！」

そう言って走りだすけいちゃん。メイプルさんも、あとを追いかけます。

お医者さんに案内されて、しんさつ室の中に入った
けいちゃんメイプルさん。

お友だちの病気のことをたずねると、
お医者さんがやさしく
教えてくれました。

「新しいおくすりがひつよう
なのかもしれないね。
でも、おくすりのタネから
おくすりができるまでには、
『治験』という試験をして
10年以上もかかる
ことがあるんだよ」

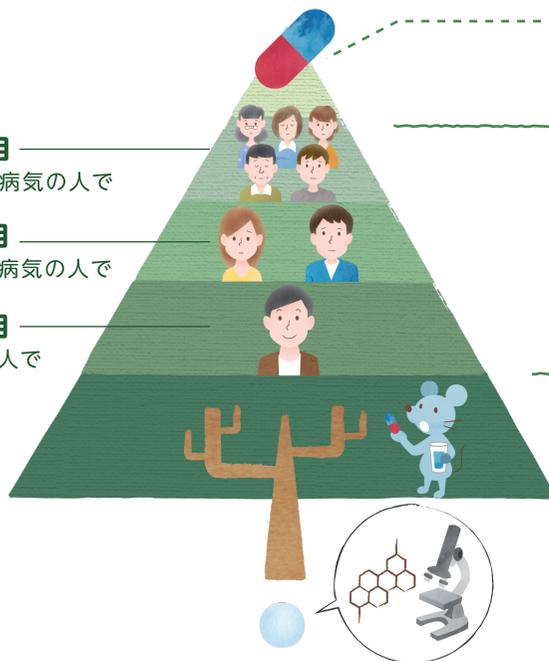
「10年以上も?!」
初めて聞いたけいちゃんは、
ちょっとびっくりです。

新しくくすりが生まれるまで

第3相
多数の病気の人で

第2相
少数の病気の人で

第1相
健康な人で



4~10年

ステップ6 製造販売後調査
くすりを育てる

1~2年

ステップ5 くすりの誕生

3~7年

ステップ4 承認申請
国に承認してもらう

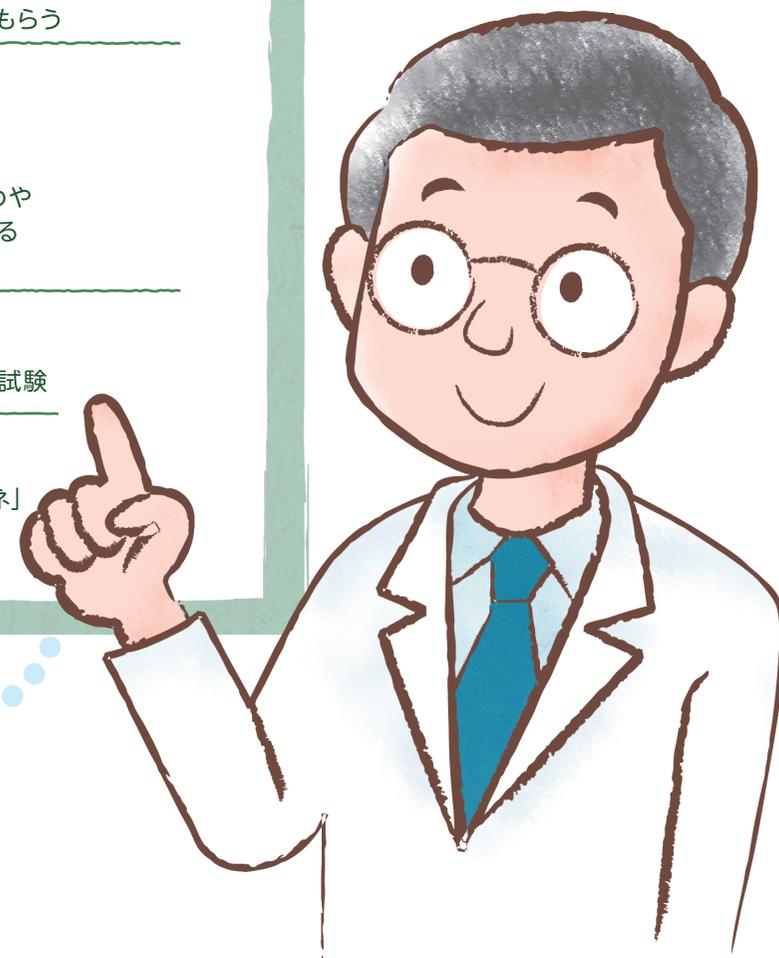
3~5年

ステップ3 治験
くすりのききめや
副作用を調べる

2~3年

ステップ2 非臨床研究
動物や細胞で試験

ステップ1 基礎研究
「おくすりのタネ」
発見



「もし、わからないことや不安なことがあれば、
CRCさんに相談してください。
ちけん君、CRCさんを案内してきてくれるかな」

おうちのかたへ

治験は、薬の候補の効き目や副作用を調べるため、一般的には健康な人で行う第1相、少数の病気の人で行う第2相、多数の病気の人で行う第3相と3段階に分け、長い年月をかけて行われます。



白衣のお姉さんが入ってきました。

「わたしはCRCです。

治験をするお医者さんと参加した人の間にたって
治験がスムーズにできるようお手伝いしているの」



「けいちゃん、タブレットでもっとくわしく治験のことが調べられるのよ」
CRCさんがやさしく教えてくれます。

「ほら、このサイトを見て。
りんしょう
今、進められている臨床研究もあるわよ」

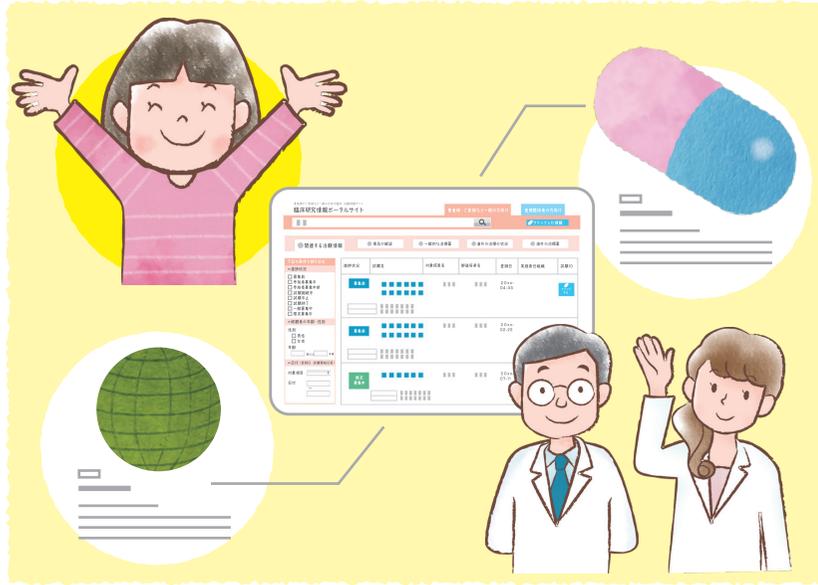
「へえ、こんなのがあったんだ。
しょうほう
臨床研究情報ポータルサイトっていうんだね。」
と、感心するけいちゃん。

おうちのかたへ

- **CRC (臨床研究コーディネーター)**とは：治験のサポートをするスタッフのこと。
治験に参加する人にとって、なんでも相談できる一番身近な存在です。
- **臨床研究**とは：治療薬や医療機器の開発、病気の原因や予防の仕方、新しい治療方法を開発したり、患者さんのQOL(生活の質)の向上を目的に、人に対して行う医学研究です。
- **臨床研究情報ポータルサイト** (<https://rctportal.niph.go.jp/>)
病気や薬の名前で検索すると、日本で実施している臨床研究、病気の解説、一般的な治療薬、海外の研究や治療薬の情報などが調べられます。

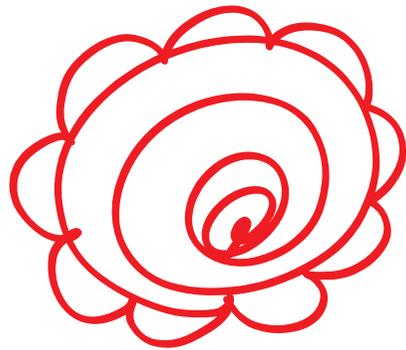


お休みが終わり、けいちゃんも自由研究をていしゅつしました。
結果は、なんと「はなまる」！
大よろこびのけいちゃんでした。



「先生からのコメント」

がんばって調べたね。
早くおクスリができて、
お友だちの病気が
なおるといいね。



「自由研究のまとめ」

新しいおクスリをつくるためには、

長い年月をかけて治験ちけんをしないといけないそうです。

治験ちけんは、おクスリのタネの試験です。

日本で行われている治験ちけんは、臨床研究情報ポータルサイト



で調べることがができます。

また、今使われているおクスリや外国のこともわかります。

治験ちけんや臨床研究りんしんけんきゅうに協力することで、おクスリの開発が進み、

新しい治療法ちりょうほうができ、病気の人の力やはげみになります。



お友だちの病気がなおる
おくすりができるといいね!



おくすりのタネをさがしてみたよ

監 修 公益社団法人 日本医師会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 臨床研究治験推進研究事業
「治験・臨床研究の質の向上に向けた国民の主体的参加を促すための環境整備に関する研究」

研究代表者

令和2年～令和3年度 中川 俊男 (公益社団法人日本医師会)

令和4年度 猪口 雄二 (公益社団法人日本医師会)

研究分担者

宮川 政昭 (公益社団法人日本医師会)

おはなしのタネ 湯川 慶子 (国立保健医療科学院)

若井 修治 (公益社団法人 日本医師会 治験促進センター)

丸山 由起子 (公益社団法人 日本医師会 治験促進センター)

伊藤 真由美 (公益社団法人 日本医師会 治験促進センター)

奥山 正隆 (公益社団法人 日本医師会 治験促進センター)

絵のタネ たんばきょうこ



